

魚沼市議会だより 臨時号



ボートで救助に向かう機動隊員



破間川ダム放流後の藪神ダムの様子



自衛隊ヘリによる救助活動

被災された市民の皆様へ

お見舞い申し上げます

この度、7月28日からの集中豪雨は、県内各地に大きな被害をもたらせました。当市においては、この3日間の最大累積雨量802ミリ、最大時間雨量が入広瀬で78ミリを記録しました。中越地域を中心とした集中豪雨によって、魚野川、破間川をはじめ中小河川の氾濫や堤防の決壊による家屋や農地への浸水、土砂災害、道路閉鎖による集落孤立など、いたるところで被害が発生し、避難指示・勧告が発令され、過去最大規模の水害となりました。

こうした中であって、地元消防団、地域住民、自治会の献身的な活動をはじめ、市、県の行政機関の対応や、さらには自衛隊、機動隊の応援により、大災害の中にあっても、人的被害がなかったことなど一定の被害拡大をくい止めることができました。それぞれ皆様の防災活動に敬意を表し、感謝を申し上げます。

東日本大震災の衝撃冷めやらぬ中、この度の大水害は、あらためて自然の猛威を感じます。どんな災害も迅速・的確な対応が一番重要となります。市議会として、一日も早い復旧を進め、この災害を教訓とし、安心・安全な地域づくりに、誠心誠意、努めてまいります。

市民の皆様におかれては、くれぐれも健康に留意され、地域一体となって、大きな災害から立ち直れますように心よりお祈り申し上げます。

魚沼市議会議長 佐藤 守



魚野川の増水により冠水した市街地



7月30日午前10時から議会全員協議会で被害等の状況確認を行いました。

市内各地の被災状況等

このほかにも市内各地の家屋・道路・農地等に甚大な被害が発生しました。



各地の水田で土砂等の流入による被害が発生しました。



消防団による水防活動も各地で行われました。



破間川決壊付近の道路



堀之内病院も床上まで浸水しました。

この度、かつてない集中豪雨により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当市も甚大な被害を受けたことにより、臨時の議会だよりを発行いたします。

私達は東日本大震災で、津波の恐ろしさを教訓として学びました。しかし、今回の豪雨による水害は、自然のエネルギーに対して我々がいかにも無力であるかを、あらためて痛感しました。

深夜の暗闇の中で、懐中電灯と街灯の小さな明かりを頼りに、冷静に救助に当たられた地域住民・消防団・職員の皆様には、本当に感謝の念に堪えません。

日頃から災害に対する心構えが本当に大切だと感じます。復興への目標と希望を抱き、一日も早くこの災害の爪痕から立ち上がり、災いを転じて「復興」が福となすことを願ってやみません。共に手を取り合い、歩みましよう。

広報編集特別委員長 本田 篤

